

世界遺産登録30周年記念 広島大学公開講座

8

宮島の自然を未来へつなぐ

ー森・海・シカから考えるネイチャーポジティブー

広島県廿日市の宮島は、2026年12月に世界遺産登録30周年を迎えます。海から山頂まで連続する豊かな自然は宮島の大きな価値であり、多様な生き物を育む基盤です。また、神事に関わる植物の存在にも見られるように、宮島の自然は文化とも深く結びついており、30周年の節目は、地域の皆様や関係者による長年の努力によって、その自然と文化が守り受け継がれてきた成果でもあります。一方で、この30年間には自然災害や外来種の増加など、宮島の自然環境を取り巻くさまざまな変化がありました。

本講座では、森林植生をはじめとする宮島の自然環境と生物多様性の魅力、宮島のシカの生態や最新の研究成果について紹介します。さらに、森林火災や豪雨災害からの回復、地域と連携した緑化活動などを通して、宮島の自然をよりよい状態にして未来へつなぐ「ネイチャーポジティブ」の実践について紹介します。

会 場	対 面 : 広島大学きてみんさいラボ (広島駅南口 広島JPビルディング2階) オンライン : -
時 間	①10:00~11:30 ②13:30~14:45 ③15:00~16:15
定 員	対 面 : 24 名 オンライン : - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 : 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/13 (金) (必着) まで先着順で受付

宮島の自然と生物多様性

講 師 : 瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第1回

11/23 (月 祝)

①10:00~11:30

宮島の自然、とくに森林植生や海岸植生等について解説します。また、宮島を特徴づける植物など、自然と文化の結びつきにもふれながら、生物多様性や宮島の炭素固定量について解説します。

宮島のシカと生態系

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第2回

11/23 (月 祝)

②13:30~14:45

宮島には野生のシカがいます。DNAを使った研究により明らかになった、宮島のシカの系統や食性等について解説します。

宮島の自然を未来へつなぐ

講師：瀬戸内CN国際共同研究センター 宮島自然植物実験所
准教授 坪田 博美

第3回

11/23 (月 祝)

③15:00~16:15

宮島の自然も過去の危機を乗り越えてきました。林野火災や豪雨災害、稀少種の保全や外来種の影響、地域の活動など、ネイチャーポジティブについて解説します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

宮島自然植物実験所 担当 内田 慎治

電話： 0829-44-2025

メール： miyajima@hiroshima-u.ac.jp